

保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表日：R7年1月15日

保護者等数：10名 回収数：8名 割合：80%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

		チェック項目	は	い	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	8	0	0	0	0	
	2	職員の配置数は適切であるか。	8	0	0	0	0	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	8	0	0	0	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	0	0	0	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられているか。	8	0	0	0	0	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所 の提供する支援内容と合っているか。	8	0	0	0	0	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者の二 ーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達 支援計画（個別支援計画）が作成されているか。	8	0	0	0	0	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライ ンの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人 支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内 容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択さ れ、その上で、具体的な支援内容が設定されてい るか。	8	0	0	0	0	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると 思いますか。	8	0	0	0	0	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工 夫されているか。	8	0	0	0	0	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、そ の他地域で他のこどもとも活動する機会があるか。	4	1	2	1		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラ ム、利用者負担等について丁寧な説明がなされた か。	8	0	0	0	0	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の 説明がなされたか。	8	0	0	0	0	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加で きる研修会や情報提供の機会等が行われている か。	8	0	0	0	0	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こど もの健康や発達の状況について共通理解ができて いるか。	8	0	0	0	0	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が 行われているか。	8	0	0	0	0	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思 うか。	8	0	0	0	0	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等 により、保護者同士の交流の機会が設けられるな ど、家族への支援がされているか。また、きょう だい向けのイベントの開催等により、きょうだい 同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだい への支援がされているか。	5	1	0	2		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応 の体制が整備されているとともに、こどもや保護 者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ 適切に対応されているか。	7	1	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされていると思うか。	8	0	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動 概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関す る自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信 されているか。	8	0	0	0	0	
	22	個人情報の取り扱いに十分注意されているか。	8	0	0	0	0	

		チェック項目	は い	どちらとも	いいえ	わからない	ご意見
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8	0	0	0	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか。	8	0	0	0	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思うか。	8	0	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思うか。	7	1	0	0	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0	
	28	こどもは通所を楽しみにしているか。	8	0	0	0	いつも楽しそうに通所しています
	29	事業所の支援に満足しているか。	8	0	0	0	

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表日：R7年1月15日

スタッフ数：7名 回収数：7名 割合：100%

児童多機能型事業所プラス・スタイル

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 活動毎にスペースを分け区切りがつけやすいようにゾーン分けを行っている。 広々としたスペースがある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 危険予知が難しい児童に対しては、1対1で対応する等、子ども一人一人をみられるよう、ミーティングで詳しく職員配置を話し合い業務にあたっている。 イレギュラーの際も声をかけあって全体を見られるようにし、子どもの状態によって職員数の変更を行っている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 写真や絵カードが必要な場所に視覚提示し、床の色をスペースごとに変え、ゾーニングし、分かりやすい構造化を行っている。 外階段や段差があるが、個に応じて身体補助を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 食事や遊ぶ場所を分けるとともにそれぞれ活動にあわせ、色合い等にも配慮し、心地よく過ごせるような空間作りをしている。 消毒、清掃のマニュアル化を行い、日、週間、月間清掃計画に沿って行うとともに、適宜清掃は徹底している。 物品の破損がみられたら回収し、補修している。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> パーティションでの区切りやカーブダウンのスペースを設けている。 個別課題に取り組み場所、休憩する場所を決めて分かりやすくしている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参加しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 全体目標と個別目標を月ごとに立て、実行・改善を行っている。 毎月ミーティングを行い、振り返りや改善点、良い所の共有ができています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 目安箱の設置や適宜、アンケートの実施等工夫している。 把握、公表、改善対策、検討会を行っている。 評価表だけでなく、日々聞き取り体制で向き合っている。 保護者の意向を職員全員が把握できるように伝達を行っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎月(個別振り返り)や適宜面談を行っている。 話し合いの機会を多く持ち、職員自身が考えるきっかけになっていると感じる。 必要に応じて実施していく。 外部評価が必要。 行っていない。必要な場合に行えればと思う。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 毎月決まった曜日に実施することで確保している。 外部研修のお知らせがあり、適宜参加している。 受けた外部研修の伝達講習を行っている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎月決まった曜日に実施することで確保している。 外部研修のお知らせがあり、適宜参加している。 受けた外部研修の伝達講習を行っている。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 時間をかけ検討しながら作成、公表している。 支援目的、内容を書類にして保護者に提示している。 ボードにまとめ、スタッフは誰でも業務前中に見られるようになっている。 アセスメントツールを用いて分析している。 保護者とのコミュニケーションを常に行い、面談や家庭訪問にてニーズの把握を定期的に行い、家庭からの情報及びアセスメントを行った上で計画書を作成している。 作成され、スタッフは誰でも閲覧できるようになっている。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントツールを用いて分析している。 保護者とのコミュニケーションを常に行い、面談や家庭訪問にてニーズの把握を定期的に行い、家庭からの情報及びアセスメントを行った上で計画書を作成している。 作成され、スタッフは誰でも閲覧できるようになっている。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援者間で話し合いを行っている。 支援会議にて共通認識の向上を行っている。 職員同士情報共有し支援している。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 計画を毎月ミーティングにて全員で共有し支援している。 計画書に基づいた支援がなされるよう相互チェックや指導を行い、質の向上を行っている。 担当職員が支援内容を申し送り時に共有するとともに手元にいつでも閲覧できるようにしている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> NCプログラム、VinelandII、PECS、人との関わりシート等のフォーマルなアセスメントと聞き取りやヒアリング等のインフォーマルアセスメントを適宜行っている。 児発管一担当スタッフが中心となり、全スタッフへの周知共有を行っている。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 法改正を受けて、ガイドラインに基づき、具体的に個に応じた計画が設定されている。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> チームで検討し、立案、共有、改善を月に一度行っている。 ミーティング、申し送り時に活動内容の共有を行っている。 行事や創作、集団活動等チームで工夫点を考えている。 毎月内容の変更、適宜見直しを行う。 月間のプログラムに応じて、個々の特性や季節に応じて臨機応変に組み立てている。 児に合わせた支援を行っている。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 毎月内容の変更、適宜見直しを行う。 月間のプログラムに応じて、個々の特性や季節に応じて臨機応変に組み立てている。 児に合わせた支援を行っている。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 個別集団ともに日々組み合わせ実施している。 個別、集団を計画書に基づき行っている。 月ごとにテーマに沿って活動内容を変えている。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チーム連携して支援を行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> タイムスケジュールや伝言ボード、直接的な申し送り共有を行っている。計画書をすぐに見られるように設置している。変更点についてはさらに細かく打ち合わせをし、分担を決めスムーズに支援できるようにしている。 午前午後に行っている。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 何か不足していたか手立での振り返りを行う。 当日には行えない場合も、次日に気付きは共有するようにしている。 時間がなく振り返りができていない日もあるので構造化(打ち合わせ)やメモを残す等改善できる様を考える。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 日々の記録をとっている。改善につなげるために記録から行動分析を行ったりと、職員全体の支援の質の向上を行っている。 記入漏れのないように、項目に沿って個別記録をそれぞれ記入している。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 時期を明確化し、確実にしている。 保護者と話し合い見直しを行っている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのことものの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児発管を主に担当職員や主任が参加している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・必要に応じて連携。 ・適宜ケース会議や情報共有を行っている。 ・支援内容の共有、課題提供を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・相互に訪問し合い様子の共有を行っている。 ・支援会議資料作成を行い、情報提供を行っている。 ・情報共有している。 ・園や事業所見学を適宜行っている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・担当者会議を開き、共有。 ・就学時に書類作成し、情報提供を行っている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	4	3	・自立支援協議会やセンターの研究會に参加し、学びや助言を受けている。 ・必要の際に行われている。 ・地域との連携が必要。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のことものと活動する機会があるか。	4	3	・公園等、地域の場外に出る機会を設けている。 ・地域の公園や商店街への外出時に交流機会がある。 ・他の子どもとの交流が必要。
	33	日頃からことものの状況を保護者と伝え合い、ことものの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・来所時、降所時、送迎時に必ず保護者に声を掛け、様子の聞き取りや伝達を行っている。 ・送迎時、家庭訪問、事業所内相談を適宜行い、お子さんの様子や今後の課題を話し合っている。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・研修受講後、情報提供を行う。 ・保護者参観や体験型のイベントを年2回企画実施している。 ・家庭で行える対策を伝える機会が必要。 ・ペアレント研修は行っていない。 ・家庭訪問や行事の際に情報提供を行っている。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・特別に時間を設けて説明を行う。 ・契約時と変更時に都度丁寧な説明を行っている。 ・利用開始時に行うと共に、常に玄関の手に取れるところに置いている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・毎月、決められた日程で意向確認を行い、書類にも記載している。 ・定期的に見直しを行い、丁寧に説明を行っている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・説明をする場を設け、説明後同意を得ている。 ・変更があればその都度同意を得ている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・家庭訪問や事業所にて面談時間を確保するために、定期的に調整を行っている。 ・モニタリング時や必要な場所で行っている。 ・必要とされる時には時間を設け行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	・イベント企画時やグループ家族支援時に茶話会を実施し、交流の機会を設け、交流しやすい場づくりをしている。 ・保護者交流の場を親子行事として年2回設けている。 ・きょうだい同士の交流や父親の交流が必要。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・相談時はその場で時間確保、日程調整をするなど迅速な対応をとっている。 ・必要に応じて相談支援や家庭訪問を行っている。 ・必要な保護にはしっかりと時間をとっている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・通信を毎月発行し情報の発信をしている。 ・必要に応じて不定期に発行もしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・管理場所を固定。鍵の施錠(書類等)。 ・顔や名前の提示について保護者の同意を得ている。 ・名前に記載している書類はシュレッダーをする。 ・事業社外に情報を持ち出さない。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・子どもの特性を把握し、自ら意思を伝えられるツールを支援で身につけられるようにしている。 ・個に応じた配慮。文書やT E L、図式化など。 ・保護者とも情報共有している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	・積極的にはい行っていない。 ・地域の人との交流の場を企画できればと思う。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
非常時等の対応	45	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 発生時スムーズに動けるように、各種マニュアル化を行い、年間の計画に基づき、様々な想定をして毎月訓練計画作成および実施している。 引渡し訓練を行っている。
	46	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援者、子どもそれぞれにねらいを持って行っている。 各種マニュアル化を行い、訓練計画作成および実施している。 適宜行い入職時には研修を行い理解する場を設けている。
	47	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 病歴等、保護者から情報を聴取している。 必要な児童は、医師の指示書等で確認している。聞き取り、必要書類の保管を行っている。 お薬手帳を見せてもらい確認している。 全体で伝達を行うと共に必要な場で個々のスタッフにも口頭で再度伝えている。
	48	3	4	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報やすく確認できるよう準備している。 現在該当月かいないが、必要に応じて行っていく。 保護者より聞き取りを行いアレルギー表を作成する。 ミーティングで伝達に加え食事前（中）に声を掛け合い見守りを行っている。
	49	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 訓練ごとに振り返り、物品準備等、改善している。 危機管理に対する意識啓発や研修を行っている。 危険な所はないか職員全員で確認共有している。 十分に配慮され安全な中で行われている。 ミーティング時に毎月職員間で共有し、更なる改善に取り組んでいる。
	50	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 訓練内容伝達、保護者との引渡し訓練の実施。 安全計画書類や引渡し訓練にて周知している。 通言や手紙、メール等でお知らせしている。
	51	7	0	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットが発生したら、再発防止のため事後すみやかにを行い、改善の周知を行っている。 必要な情報が共有され話し合いなど持たれている。 事故等のマニュアルも作成されている。
	52	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 年間の計画を作成し、それに基づいて研修実施を行い、対応を適宜振り返る。 自他チェックや研修を定期的に行っている。 入職時には研修を行っている。
	53	7	0	<ul style="list-style-type: none"> 該当月かいないが、契約時に説明や周知を行っている。 研修の場を設け共通理解が図られている。 強要行動障害研修を受講したスタッフが在籍している。

事業所における自己評価総括表（公表）

○事業所名	児童多機能型事業所プラス・スタイル（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R6年9月1日 ～ R6年9月27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 11人	(回答者数)	9人
○従業者評価実施期間	R6年10月1日 ～ R6年10月25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	R6年11月5日		

【分析結果】

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	（満足度） こどもは安心感をもって通所し、楽しみにしている。また、支援に満足している。	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様が意欲的に活動に取り組むことが出来るように強化子を生かした支援を実施している。 ・成長の見通しを持ち安定した子育てが行えるように、保護者様の気持ちに寄り添い、現状や課題、関わり方などをこまめに伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心や意欲をさらに持てるような効果的な療育の提供を行うとともに、安心して通所していただけるよう、進捗状況を保護者様と共有していく。 ・支援の質の統一が行えるよう、支援者のスキルアップのための事業所内研修や外部研修への参加を積極的に行い、更なる学びを深めていく。
2	（環境・体制整備） 清潔が保たれた構造化された空間で、必要に応じた活動スペース及び人員配置を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や絵カードを必要な場所に提示し、床の色をカーペット毎に変え、ゾーニングし、視覚的に分かりやすい構造化を図っている。 ・消毒、清掃のマニュアル化を行い、日、週間、月間清掃計画に沿って行うとともに、適宜清掃は徹底して行っている。 ・物品の破損がみられたら回収し補修している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、追加で必要な構造物はないか、清潔・安全は保たれているかの改善の目を持ち積極的に個々が行動をすることや、話し合いの場を定期的に設け、改善化を図っていく。 ・利用児童個々の発達に応じた構造化の使用ができるよう支援者のスキルアップを図っていく。
3	（業務改善） 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会を確保するとともに、業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している。保護者や職員からの意見を聴取し把握している。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月法人内研修を実施しており、外部研修については告知し、適宜参加している。 ・受けた外部研修の伝達講習を行っている。 ・全体目標と個別目標を月毎に立て、実行、振り返りを行い、良い所や改善点の共有ができていく。 ・目安箱の設置や適宜、アンケートの実施等工夫し、保護者様の意向をスタッフ全員が把握できるよう伝達を行っている。 ・毎月(個別)振り返りや面談を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善の成果を「見える化」し、進捗の効果を共有、改善のための実行計画を立て、全スタッフで実行していく。 ・定期的に効果のアセスメントを行い、迅速な改善に取り組む。
4	（適切な支援の提供） こどもと保護者のニーズや課題を標準化されたツールを用い客観的に分析し、児童発達支援計画を立案し、具体的な支援内容にそって、活動プログラムが固定化されないようにチームで立案し、工夫した支援を特性に応じて提供し、定期的にモニタリングや支援の検証を行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・NCFグループ、VinelandⅡ、PECS、人との関わりシート等のフォーマットの実施と聞き取りやヒアリング等のインフォーマットを適宜行っている。 ・児発管→担当スタッフが中心となり、全スタッフへの周知共有を行っている。 ・月間のグループに基づき、個々の特性や季節に応じて臨機応変に組み立て、内容の変更、適宜見直しや工夫点をチームで考えている。 ・日々の記録を記入漏れのないように、項目に沿ってそれぞれ記入している。改善につなげるために記録から行動分析を行い共有し、スタッフ全体の支援の質の向上を行っている。 ・時期を明確化し、保護者様と話し合い見直しを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画を基に、保護者様と共にお子様の成長にしっかりと向き合い、充実かつ効果的な発達支援を提供していくことができること、また、記録を通して、お子様の課題や現状、必要な支援が保護者様と共有が行えるよう、スタッフ間で研修を行い記入のスキル向上を行う。 ・専門的な知識の向上とそれともなう実践スキルの向上を目指し、多角的な研修プログラムを立て啓発を行う。 ・一貫した支援が行えるよう、支援者同士で相互チェックを行う環境を整える。
5	（関係機関や保護者との連携） 担当者会議や関係機関との会議へ参画し、情報共有や相互理解を図っている。また、日頃から子どもの発達の状況や課題について共通理解が図られるように機会を確保している。	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜ケース会議等に児発管を主に担当スタッフや主任が参加し、情報共有を行っている。 ・相互に訪問し合い様子の共有を行っている。 ・来所時、降所時、送迎時に必ず保護者様に声を掛け、様子の聞き取りや伝達を行っている。 ・家庭訪問、事業所内相談を適宜行い、お子様の様子や今後の課題を話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所だけで療育を完結するのではなく、ご家庭や関係機関と連携し支援体制の強化が行えるよう、各機関のリソースの共有を行い、より効果的な支援の提供を行っている。 ・保護者様へケース会議開催の啓発を行う。 ・会議以外にも適宜電話やオンラインにて情報共有を行っていく。
6	（保護者への説明等） 支援計画を基に支援した内容を日々の伝達共有を行っている。また、定期的に家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、共感的に面談や必要な助言と支援を行うとともに共通理解に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問や事業所にて面談時間を確保。 ・定期的に調整を行い、行っている。 ・モニタリング時や必要な場所で行っている。 ・必要とされる時には時間を設け行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別相談だけでなく、グループでの学習会や、茶話会などの機会を通して、悩みの共有や、支え合いの場の提供を行っていく。 ・実際の支援を参観し、具体物や構造物を使って体験をしていただくことでより理解を深めていただける場を設けていく。
7	（保護者への説明等） 個人情報に留意し、定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信している。	<ul style="list-style-type: none"> ・通信を毎月発行し情報の発信をしている。 ・必要に応じて不定期に発行も行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、SNSの積極的な活用を行い、タイムリーな情報発信を行っていく。 ・急な発信が必要な際には、電話とメールにて直接伝え、確実に受信できるようにしていく。
8	（非常時の対応） 業務継続計画（BCP）、各種マニュアル及び安全計画を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ・発生時スムーズに動けるように、各種マニュアル化を行い、年間の計画に基づき、様々な想定をして毎月訓練計画作成および実施している。 ・引渡し訓練を行っている。 ・適宜及び入職時には研修を行い理解する場を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間計画に沿った実施だけではなく、個々の利用児童の実行機能能力の把握を行い、想定外の訓練にも迅速かつ適切な対応力が向上するよう訓練を積んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	（適切な支援の提供） 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・交流活動についての計画が立てられていない。 ・事業所外での活動では、移動手段や時間的制限がある。また、自事業所内での開催に関しても収容人数や音響に関する負担が大きい。 ・事故等安全上のリスクを鑑みて積極的に取り組むことに対して躊躇する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不安点に関しては、行政に相談を行い、効果的な交流機会を設けていくことが出来るようアドバイスをいただく。 ・他事業所の実行例等の情報収集を行い、参考にしていく。 ・地域資源(児童館や公民館等)を活用し、外部施設にて療育プログラムが行えるような計画立案を立て実施していく。
2	（保護者への説明等） 保護者会等の活動支援や開催等により、保護者同士の交流の機会やきょうだい向けのイベントの開催等の支援が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間実施計画が作成されておらず、不定期開催となっている。 ・ニーズの把握（開催内容・日時・所要時間・開催場所等）が適切に行えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様のニーズをヒアリングし、年間で計画立案を立て、実施していく。
3	（保護者への説明等） 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営が図れていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・自事業所内での開催に関しては、収容人数や音響に関する負担が大きく、また、防犯や事故等安全上のリスクを鑑みて行えていない。 ・地域住民の方に対して事業所活動の啓発ができていない。 ・地域行事の把握をしていない。 ・事業所の休業日が土日である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会や地域企業に対して、事業所の認知をしていただけるよう挨拶やリーフレットの配布を行い、認知を広めていく。 ・地域行事の参加や出店を企画、実施していけるよう開催等の情報収集を行い、計画的に営業日の設定を図っていく。